

横浜TKMが初優勝【ラグビー女子7人制国内サーキット第1戦】

2022年4月24日 20時41分

LINE ツイート B! 0 シェア 0 コメント 0件



シリーズ初優勝を飾り、喜ぶ横浜TKMの選手たち。前列中央がMVPのククタイ

女子7人制ラグビーの国内サーキット「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ」の第1戦が埼玉県熊谷ラグビー場で行われ、決勝は横浜TKMが17-0で東京山九フェニックスを下し、初優勝を飾った。

大会6試合でチーム最多の7トライを挙げ、MVPを受賞したニュージーランド(NZ)出身のグレイス・ククタイ(25)は2週間前に来日。2年前は他チーム所属だったが、コロナ禍で全大会が中止され、今回は念願の初参戦。「NZでは7人制の国内大会がない。こんな素晴らしい大会に優勝できてうれしい。残りの3戦も勝ちたい」と笑顔で話した。

横浜TKMは2011年に医療法人のチームとして創設され、元慶大ラグビー一部監督の故・上田昭夫さんが初代GM兼監督を務めた。選手の約半数は医療機関に勤務している。